

会 議 録（概要）

会議の名称	令和2年度 第2回 佐渡市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和3年2月22日（月） 午前10時00分から午前11時30分
場所	佐渡市役所 本庁舎3階 大会議室
議題	(1) 男女共同参画セミナーの開催報告について (2) 男女共同参画に関する事業所アンケート調査報告書（案）について (3) 令和2年度 男女共同参画推進事業 庁内推進施策の実績について (4) 令和3年度 男女共同参画推進事業計画（案）について (5) その他
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	有識者5名、公募参加者1名 事務局：企画課 課 長 猪股 雄司 政策推進係 主任 松本 亜沙美 主事 福嶋 雅麗
会議資料	資料No.1 男女共同参画セミナー開催報告 資料No.2 【概要版】男女共同参画に関する事業所アンケート調査報告書（案） 資料No.2-1 男女共同参画に関する事業所アンケート調査報告書（案） 資料No.3 男女共同参画推進事業 庁内推進施策実績一覧 資料No.4 令和3年度 男女共同参画推進事業計画（案）
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
猪股課長	あいさつ
福嶋主事	(1) 男女共同参画セミナーの開催報告について ※資料No.1 について説明 (1) についての質疑応答
A氏	自分自身のことでいうと、「私子育て終わってるから関係ないわ」ではなく、

<p>福嶋主事</p>	<p>おじいちゃん、おばあちゃん世代＝サポート世代ということで、私たちの年代もこういったことに関する役割を果たしていくことがすごく大切だと思っている。参加者アンケートを取っていると思うが、実際参加された方の年代や、お子さんの年齢などのデータを把握していれば教えて欲しい。</p> <p>年代に関しては、今回 23 人の参加があった中で、10 代・20 代が 0 人、30 代が 6 人、40 代が 11 人、50 代が 4 人、60 代以上が 2 名ということで、30 代と 40 代がほとんどという結果だった。お子さんの年齢については、市小中学校 P T A 連合会との共催事業ということで、会員の方に多く参加していただいたため、小中学校のお子さんを持つ保護者がほとんどであった。</p>
<p>B 氏</p>	<p>今回のセミナーを周りに薦めていく際に、このタイトルへの不評が多かった。看護「師」や保育「士」のように性差別を無くしていった中で、何故わざわざ「イクメン」や「カジダン」といった名称を付けるのか。そういうことについても少し気を付けたほうがいいのかと思う。</p>
<p>福嶋主事</p>	<p>承知した。</p>
<p>C 氏</p>	<p>当日参加し、とてもいいセミナーだと思った。男女問わず、年齢を問わず、もっと多くの方に集まってもらいたいと感じた。Zoom でご出演いただいた育休取得者の男性と子ども達との会話や触れ合いが映像で流れてきて、こういった余裕のある子育てというものを、もっと多くの方に見てもらいたいと思った。男女共同参画の意義でもあるが、幼児の間にこうしてお父さんが何か月か半年か一緒に子育てに加わって、ゆっくり子育てして行って、子どもの人間形成の一番大事な時期にお父さんに見守られながら育つということが本当に大事だと感じた。学校でのいじめや不登校の問題にも関係するのではないか。人間形成の根本をお父さんとお母さんでしっかりと行う。お父さんの収入が何割か減ったとしても、子育てのわずかな期間なので、収入よりも大事なんだという考えを持って欲しい。大人になってもお父さんお母さんに大事に育てられたという事がすごく心に残ると思う。いいセミナーなのに人数が少なく残念だった。</p>
<p>D 氏</p>	<p>職場でセミナーのチラシを保護者の方に配布したところ、誰一人として反応がなく、なかなか決められた日に都合がつかないということだった。広報の部分で C N S テレビの特別番組があったので、これを周知することで内容を広くお知らせできるのではないかと考えた。特別番組に関しては再放送や、DVD での回覧等といったことはあるか。</p>

福嶋主事	特別番組は1月に放送されたもので、この放送枠は既に終了している。放送に当たっては、市HPやSNS等で周知を行った。再放送の予定についてはまだ情報がない。DVD化については、良いアイデアだと思うので、まず可能か相談してみたいと思う。
D氏	保育現場での保護者の方の園児の送迎や行事等への参加状況を鑑みるに、「イクメン」、「カジダン」といったことに今の若い世代は十分に参画している。あえて聞いていただきたい世代があるのではないか。何割の方に対してこういう周知をしていかなければならないのかが見えてこないが、それでも活動を続けていかなければというところがある。最近の報道でも知られているとおり、発言等で潜在的な問題が明るみになる状況が依然としてある。
A氏	CNSテレビはお金を払って契約しないと見る事ができない。例えばだが、YouTubeに参加者の方のプライバシーを守るような加工を施してアップしてもらおう等、そういった対応ができないか。
福嶋主事	DVDも一つのアイデアだが、今の時代で考えるとYouTube等の無料のウェブサービスの方がより効果的なのかなと思う。いずれにしても可能かどうか確認することから始めたい。
猪股課長	佐渡市でもYouTubeチャンネルを持っている。参加者のプライバシーの関係が問題になってくると思われるので、その辺りについて協議をしていきたい。
B氏	先ほど若い世代は男性も育児・家事に参加しているという意見があったが、先日企画課で開催した子育て世代のワークショップに出席したところ、私より若い世代でも、男性が育児・家事に参加しないことに困っているという意見が多く出ていた。他には、二人で働かないとお金がないという意見が圧倒的だった。そういう事実を数字で示せば、こういう結果があるのでこういった事を開催しますという形で、すごく説得力が出ると思う。
E氏	私もセミナーに参加した。講話の部分で感じたのは、育児休業の取得のしやすさがトップの考え方で全然違うということ。また、ワークショップの部分では、30代は比較的協力的だが、その上にいくと考え方に昔ながらの部分があるのかなという印象を受けた。その辺りをどう砕いていくかがこれからのテーマなのかなと思う。

<p>福嶋主事</p>	<p>(2) 男女共同参画に関する事業所アンケート調査報告書(案)について ※資料No.2、資料No.2-1 について説明 (2) についての質疑応答</p>
<p>A氏</p>	<p>配布資料の報告書(案)について、25 ページの介護休暇の取得状況の項目で取得人数が男性9人、女性8人でほぼ同じなのに取得日数のところが一桁数字が違っているが、間違いはないか。</p>
<p>福嶋主事</p>	<p>ある一人の男性の取得日数が突出して多かったため、そのような結果となっている。介護は育児と比較して、男女の差よりも家庭の事情による違いがより濃く出る傾向があるのかなと感じている。</p>
<p>福嶋主事</p>	<p>報告書について、1点補足説明がある。報告書(案)の問8-4について、無回答0.9%が抜けていたので、修正させていただく。</p>
<p>福嶋主事</p>	<p>(3) 令和2年度男女共同参画推進事業 庁内推進施策の実績について ※資料No.3 について説明 (3) についての質疑応答</p>
<p>C氏</p>	<p>セミナー参加者の中には、いいものを得られた、意識を変えられたという方が沢山おられると思うが、若いお父さんお母さんは仕事仕事で参加が難しいと聞く。企業の方で、従業員がセミナーに参加できるよう呼びかけるような仕組みをつくれませんか。行政から企業へ支援することで、いい流れを作ってもらえれば。</p> <p>令和6年度までに登用率を30%まで引き上げようといった目標を立てているが、課題について細かく掘り下げて書き出していく必要がある。立てた目標に少しでも届くようにしてもらいたい。</p>
<p>福嶋主事</p>	<p>「個人」も基本的にはどこかの事業所の従業員であるため、事業所を介して呼びかけるということは非常に有効な方法であると思う。事業所との連携ということであると、特に子育て・介護との両立について、官民連携でどのような環境整備ができるのか事業所と意見交換を始めているところである。議会からの提案もいただいており、国の両立支援等助成金や「くるみん」、「えるぼし」といった制度を市として積極的に周知していく必要があるが、一方的になってはならないので、事業所のニーズを聞き取ることから始めている。そういった意見交換の中で、事業所を介した呼びかけに</p>

座長	<p>ついても進めていけるといいのかなと思う。</p> <p>こちらでも職員、保護者にセミナーへの参加を呼びかけたが、全く反応がなかった。PTA連合会の協力を得ても8割の参加に留まっている。事務局としては何が原因だと捉えているか。</p>
福島主事	<p>「男女共同参画」というテーマに身構えてしまう部分があるのかと思う。できるだけ取っ掛かりやすくしたいと思い、「イクメン」のように軽い言葉をセミナータイトルにしたり、色々と試してみているところであるが、未だ突破口が見つかっていない状況である。</p> <p>一方で、コロナ禍が押し進めたものとして、リモートでセミナーに参加したりといったことが一般的になりつつある。今後、当日会場にいらしていただくことが難しい方に向けても広めていく視点を持って続けていきたいと考えている。</p>
E氏	<p>セミナーについては継続して取り組んでいくということで、それはそれで大事だが、一番根本の部分をいうと、育児休業取得時の給付金の話になる。厚労省の補填は67%しかない。給与の100%を出した上で、男女どちらが休業取得するか二人で相談してもらうべき。地方自治体から国に提案していくことが必要である。</p>
福島主事	<p>給付金も大切な観点だが、事業所の方とお話をする、育休取得推進の一番の課題は代替要員の確保であると聞く。特に中小企業では人に仕事が付いているため、休業になったら給与が浮いた分で人員補填すればいいというものではなく、どうしても他の従業員への負担が大きくなる。国の両立支援等助成金をみると、確かに手続きが難しくなっているようにも見えるが、計画を綿密に立てて体制が出来てくると助成金も申請できるというような流れになっている。良い制度がありながら、手続きが難しかったり、そもそも周知が足りないという部分があるため、国の制度ではあるが、市としても周知や支援を考えていかないといけない。</p>
E氏	<p>民間についてはそうだが、市役所がまず変わらないといけない。市役所が変われば民間も変わっていきける。市役所でも育休取得は女性が多い。それが何故なのかを突き止めていく必要がある。</p>
福島主事	<p>今回の国の第5次計画の目標を見るに、かなり大鉦が振るわれる予定である。現在、地方公務員の男性の育休取得率は8%に留まっているが、第5次計画では2025年に30%に達することが目標として掲げられている。率先</p>

<p>A氏</p>	<p>した取り組みが必要だということは、国もそのように捉えていることが見て取れるし、市としても国の目標にどこまで近づくことができるかが課題になると思う。</p> <p>男性の育休取得率に関して、無理して上げていく必要があるのか疑問に思う。育児をしていた母親の立場としては、パパがお風呂に入れてくれたりオムツを変えてくれたりするの是非常にありがたく心強いが、実際のところパパは授乳ができない。粉ミルクを作って飲ませる事はできても、母乳で育児する場合はママが育休を取って育てる方が適任であると思う。家庭の事情に応じて、母親の方がバリバリ働き、父親は専業主夫という家があってもいいと思うし、パパに働いてもらってママが育児休業を取得して子どもを育てたい等、それぞれのケースに応じてということでもいいと思う。何故躍起になって数字を上げようとしているのか、私個人としては分からない。</p> <p>続けて何点かお話をさせていただく。</p> <p>セミナーの参加希望者が少ないという点に関して、自分も職場内の子育て世代の社員に声をかけるなどしたが、なかなか出してもらえない。自分自身が30年前にフルタイムで働きながら育児をしていた頃は、休日くらいは子供を公園に連れて行ったりして遊びたかった。たとえ有意義なセミナーであってもそこへ出掛けて行く暇があったら家で寝たい、関係ないことに時間を取られたくないというのが本音だった。</p> <p>そうした中でも過去自分が参加した経験があるものとしては、他県に住んでいた頃、プラネタリウムや、動物園など子供連れで行けるような施設のチケットがセミナー参加者全員に配られるとか…そういうことがあれば喜んで行っていた。尚且つ、会場には託児所まで用意されていて、セミナーの間は子供を預かってもらった経験がある。限られた予算内でそこまで出来るかわからないが、何かメリットがあれば行ってみたいということもあると思う。ちょっとしたお土産みたいなものを用意するのも1つの方法かなと思った。</p> <p>資料No.3に関して、とてもわかりやすい一覧表だと思う。10課くらいに別れてそれぞれ担当項目があるが、横の情報共有はできているのか？自分のところはこれをやってるがあっちの課は何をやってるか知らないということがもしあれば、各課の担当者を集めて会議を開くのはなかなか難しいと思うので、この紙1枚共有するだけでもすごく分かりやすいなと思った。ただ、項目に関して、この推進施策をいつ誰がどのようにして決めたのが疑問である。例えば絵画の教室というのは男女共同参画と関係があるのか。どういう基準でこれだけのものをあげているのか。必要不可欠な項目がほとんどだが、無理して入れなくていいのではというものもあったので、</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福嶋主事	<p>その点について事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>まず横の情報共有について、男女共同参画推進施策に関しては、庁内に課長級で構成される推進会議を持っている。その下に係長級で構成されるワーキンググループがあり、資料No.3に記載のある項目については、各課に担当者がいる状態になっている。今回の資料作成に当たっても、各課へ照会して実施事業を回答してもらっている。もともと第3次計画を策定するに当たっても庁内推進会議を開催して項目、担当課を決めた中で進めていることであり、具体的な施策については各年度、年度初めと年度末において計画と実績を各課へ照会しているものである。</p> <p>セミナー集客に関するアイデアについては、我々としても発想としては持っていて、例えば来年度計画しているキッズお仕事体験へのブース出展というのは、集客力のあるイベントに相乗りすることで多くの方に周知を行うということを進めていきたいと思っている。</p>
福嶋主事	<p>(4) 令和3年度 男女共同参画推進事業計画(案)について ※資料No.4 について説明</p> <p>(4) については、質疑なし</p>
福嶋主事	<p>(5) その他 ※懇談会参加者の追加について進捗状況の報告</p> <p>(5) についての質疑応答</p>
A氏	<p>懇談会の資料について、座席表と名簿はどちらかでもいいと思う。また、謝礼金の振り込みに関して、口座の記入例と申請書と一緒に届くが、記入例は省いていいと思う。</p>
C氏	<p>事業所アンケート調査について、報告書9ページの取り組みの効果の項目で、取り組みを進めている事によって職場に効果が出ているというのは大きな成果だと思う。着実に少しずつ広めていく事に意義があると思う。</p>
D市	<p>今年度初めて懇談会に参加した中で、自分の発言がどこまで反映されるか自信がないが、他の委員がおっしゃった通り、女性として、母として、佐渡市の中で一番何が問題なのかという部分について、「男女」というよりも「人」として、幼児教育をする立場としては、子ども達が父になり母になるまでの人格形成が一番重要なポイントであると考えている。また、佐渡</p>

	<p>市は人口について本当に危機感を持たないといけない。 懇談会では、何を大切にするかというところについて見つめ直すいい機会になった。</p>
福嶋主事	<p>懇談会の議事録については、毎回ホームページで公開している。一言一句発言のままでは文意が伝わらないことがあるので、多少の手直しはするが、ご発言は確実に公開させていただく。事前に公開案の確認も依頼するので、その際にご協力をお願いしたい。</p>
A氏	<p>議事録の確認は web でもらえるか。</p>
福嶋主事	<p>メールでお届けする。</p>
C氏	<p>保育園でも学校でも、セミナーや講演会の案内があっても参加数が少ないということが切ない。私達がPTAの頃は集まっていた。家庭教育学校もあったし、人としてこういう方がいいとか、先輩の話を聞くチャンスがたくさんあった。そこで人生を変えた人もいるし、今はみんな忙しい忙しいでそういう機会がないという事が惜しい。たとえ忙しくても何らかの方法で聞いてもらいたい。せっかくこんな立派な講演会やセミナーがあって、人として歩いていくうえで大事な事を教えてくれるのに、それを聞かないでパスしてはいけない。保育園の孫の送り迎えをしているが、私たちが保育園の送り迎えしていた時と会話の仕方や、子ども達と登園する時の様子を見ても、これでいいのかなと疑問に思う。先輩の意見を聞いたり、色々なことをして、お子さん自身が大きな心を持つお母さんであってほしいなと切に感じる。いずれ佐渡市を担っていく子ども達に心豊かに育って欲しいと思う。</p>